

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート

No. 14-3

PDCA	主要事業名	半田市観光協会支援事業	部課名	市民経済部観光課	担当	酒井
					内線	326

P

総合計画との関係性と予算根拠

総合計画：2 - 1 - 1 単位施策：観光

全体事業期間：令和3年度～3年度 全体事業費等：10,000千円

会計一般会計 歳出科目 06.01.04.02.56

3か年実施計画（当該年度事業費等）：13,100千円

事業概要等

事業概要：本市に訪れる観光客の常時対応や、観光イベントの企画・運営等による観光振興の中心的な存在である半田市観光協会の活動を支援する。

事業目的：半田市観光協会の活動を支援し、市全体のおもてなし体制の強化及びイベント等を実施し誘客を図ることで、本市の観光振興を推進する。

事業内容：情報発信事業、観光企画創出事業、回遊性向上事業ほか

問題点・アイブラザ半田及び名鉄知多半田駅前観光案内コーナー、半田赤課題等：レンガ建物における観光情報情報発信力の強化

予算額

10,000千円

財源内訳

市費10,000千円

国費0千円

県費0千円

その他0千円

主要事業とする理由

半田市の観光窓口として観光情報の発信、観光案内、観光イベントの企画運営や関係者間の調整など、本市の観光の推進に大きな役割を担っている半田市観光協会を支援する事業であるため。

得られる成果

半田市観光協会の安定した運営を支援することで、本市における観光振興施策を継続的に推進することができる。

目標値や目指すべき状態

令和元年度令和2年度令和3年度単位

年間観光入込客数

実績値1,669 目標値1,700

実績値556 目標値1,730

実績値— 目標値1,760

単位千人千人

D

値得られた成果と実績

決算額

10,000千円

得られた成果

半田市観光協会への補助金交付により、同協会による観光情報発信や観光案内等の業務を実施する、組織体制の安定した運営を支援することができた。

成果指標

令和3年度単位

年間観光入込客数

実績値787 目標値1,760

単位千人千人

C

課題の整理

事業の評価・課題

D

観光関連広報誌への情報提供やホームページ・SNSによる情報発信、観光案内やレンタサイクルの運用による来訪者のおもてなし等、観光振興のフロント業務を補助金により支援・実施したが、コロナ禍の影響は大きく、年間観光入込客数は目標値を大きく下回った。

A

課題の解決に向けた

今後の事業の方向性

改善推進

デジタル社会の進展を踏まえ、ホームページ・SNSを始めとするデジタルによる観光情報発信や回遊性向上施策を強化するとともに、メディアを活用したPRを継続して実施することにより、さらなる誘客と消費の促進を図っていく。

観点別評価

必要性

有効性

効率性

①市の関与の妥当性

妥当

④上位施策への貢献

大きい

⑦コスト

ない

②市民ニーズ

高い

⑤成果向上の余地

ない

⑧受益者負担適正化余地

—

③休廃止の影響

大きい

⑥類似事業の有無

ない

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用